

研究・調査報告書

報告書番号	担当
3 2	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Smoking , alcohol drinking and esophageal cancer: finding s from the JACC Study 喫煙、アルコール飲用と食道がん : JACC 研究の結果より	
執筆者	
Sakata K, Hoshiyama Y, Morioka S, Hashimoto T, Kakeshita T, Tamakoshi A; JACC Study Group	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Epidemiol 2005;15:S212-S219.	
キーワード	
食道新生物、喫煙、飲酒、JACC 研究、コホート研究	
<p>要 旨</p> <p>日本の 45 地区から 1988-99 年にかけて 110,000 人を集め追跡したコホート研究である。今回、男性 42,578 人のデータをもとに、喫煙と飲酒の相乗作用による食道がん死亡のリスクを分析した。</p> <p>非喫煙・非飲酒者に比して、1 日 1 箱以内の喫煙者で 3 杯以内の飲酒者では、そのハザード比は 3.88 であり、1 箱より多い喫煙者で 3 杯以上の飲酒者では、6.30 であった。非喫煙者においては、飲酒量が多くてもリスクは増加することがなく、また、1 日 1 杯までの飲酒者や非飲酒者では、喫煙量が増えても肺がんのハザード比は高くなかった。</p> <p>以上の結果から、食道がんリスクは、喫煙・飲酒習慣のあるものでその相乗効果からハザード比が高かった。</p>	